

秘書職員課

## 秘 書 調 査 係

### 1. 渉 外

#### (1) 基地関係

横田基地集約化計画（関東計画）が47年12月に公表されたことに伴い、議会をはじめ関係自治体とともに集約により基地周辺住民のみが、そのしわ寄せを受けることは容認できないとして、政府、国会、関係省庁に対し、納得できる基地対策の措置を講ずるよう強力に運動をしてきた。

そして、49年2月8日の閣議において、基地の周辺対策の抜本的な改善を講ずるため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律案の制定をはかることが決定された。

これに伴い、運動の主目標は国会対策に移り、当市を中心に全国の関係団体とともに、強力な国会対策運動を展開してきた。

年度中の概況はつぎのとおりである。

月 日	件 名
4. 5	防衛施設局長来庁
11	全国基地協議会及び防衛施設周辺整備協議会合同役員会
12	" 定期総会
20	国会及び内閣副官房長官陳情
23	青森県三沢市と基地問題協議
24	"
5. 2	日米連絡協議会
8	国会陳情
10	防衛施設局陳情
11	国会及び防衛施設庁陳情
14	基地集約特別委員会
15	防衛施設局事務部長来庁
19	防衛施設庁他陳情
23	防衛庁陳情
25	国会及び防衛庁陳情
6. 5	立川、横田基地対策協議会

月 日	件 名
6. 6	横田基地司令官と会見
8	〃
12	防衛施設庁陳情
14	横田基地副司令官と会見
15	防衛庁陳情
19	国会、防衛施設局陳情
22	〃
27	〃
7. 2	防衛施設庁陳情
4	国会及び防衛庁陳情
5	〃
12	立川、横田基地対策協議会防衛施設局施設庁陳情
〃	防衛施設局施設部長来庁、集約対策特別委員と会談
18	防衛施設局事業部長来庁
19	国会及び防衛施設庁陳情
26	全国基地協議会役員会
27	防衛施設局、防衛施設庁陳情
30	〃
31	国会及び防衛庁陳情
8. 2	国会及び防衛施設庁陳情
4	〃
6	防衛庁長官へ陳情
7	自治大臣及び自治省陳情
8	自民党基地対策特別委員陳情
9	集約対策特別委員会
〃	横田基地司令官と会談
15	防衛施設局、防衛庁陳情
30	〃
31	国会陳情
9. 4	国会及び防衛施設庁陳情

月 日	件 名
9. 10	白浜自民党基地対策特別委員長来庁、基地集約特別委員と会談
11	基地広報部長来庁
13	国会陳情
15	〃
19	防衛施設庁及び自治省陳情
21	全国基地協議会及び防衛施設周辺整備協議会役員会
27	国会及び防衛施設庁陳情
10. 3	防衛庁長官へ要望書提出
〃	全国基地協議会及び防衛施設周辺整備協議会役員会
15	第5空軍司令官と会見
16	自治省固定資産税課長来庁
23	国会及び防衛施設庁陳情
30	立川、横田基地対策協議会基地視察
31	東京防衛施設局長来庁
11. 1	国会陳情
6	東京防衛施設局次長来庁
8	基地施設部長と会見
12	国会、防衛庁、自治省陳情
15	防衛施設庁長官外陳情
19	国会陳情
26	基地集約特別委員会 岩国市視察
27	〃
12. 10	基地司令官と会見
13	国会防衛施設庁陳情
14	〃
18	〃
20	〃
21	〃
22	全国基地協議会及び防衛施設周辺整備協議会合同役員会
24	国会陳情

月 日	件 名
2 6	国会陳情
2 7	〃
2 8	〃
1. 7	防衛庁外陳情
8	国会陳情
9	〃
1 4	国会及び防衛施設庁陳情
1 7	〃
1 8	基地司令官と会見
1 9	防衛施設局陳情
2 3	国会防衛庁他陳情
2 6	〃
2 8	国会陳情
3 1	〃
2. 1	川島副官房長官と会見
5	全国基地協議会及び防衛施設周辺整備協議会合同役員会
6	基地司令官来庁
1 3	国会及び防衛庁他陳情
1 5	〃
1 8	国会陳情
2 1	防衛施設局陳情
2 6	国会陳情
2 8	横田周辺三市二町対策会議
3. 1	国会、防衛施設庁陳情
1 1	基地司令官来庁
1 3	国会、防衛施設庁陳情
1 5	〃
1 9	〃
2 0	〃
2 2	〃

月 日	件	名
3. 2 3	基地集約特別委員会	
2 9	国会、防衛庁陳情	

(2) 官公庁連絡会

福生市、秋川市、羽村町、瑞穂町に所在する官公庁で組織しており、各市町持ちまわりにより会議を続け、国、都の各機関との連絡を密にし、地域住民の福祉向上のために努力を重ねてきた。

(3) 三鷹、立川間複々線化促進協議会

中央線沿線の各市とともに中央線、青梅線、五日市線の輸送力の増強をはかり、地域社会の開発と住民福祉の向上を期するため、三鷹、立川間の複々線化の運動を関係機関に対し、強力に推進してきた。

関係団体

立川市、国分寺市、国立市、青梅市、昭島市、福生市、秋川市、羽村町、瑞穂町、  
五日市町、奥多摩町、日ノ出村、檜原村

(4) 八高線電化期成同盟会

八高線の電化を促進し、沿線の地域開発をはかり、周辺住民の福祉向上を期するため、関係機関に対し陳情運動を展開してきた。

関係団体

東京都八王子市ほか3市1町  
埼玉県入間市ほか6市3村  
群馬県高崎市ほか1市

2. 収益事業（競輪）

東京都収益事業組合の主催による本年度の開催回数、成績はつぎのとおりである。

回数	開催日	競輪場	売上高	入場人員
1	6月14日～6月19日	立川	2,809,862,300 <sup>円</sup>	136,895 <sup>人</sup>
2	7月1日～7月3日 7月5日～7月7日	立川	2,425,935,300	119,416
3	9月13日～9月18日	立川	2,227,177,400	109,730
4	11月8日～11月9日 11月11日～11月14日	立川	2,731,519,900	125,266
5	2月2日～2月4日 2月22日～2月24日	京王閣	2,269,679,600	99,830
6	2月28日 3月2日～3月6日	立川	2,705,406,700	118,455
7	3月17日～3月19日 3月22日～3月24日	京王閣	2,720,413,600	118,233

収益金の配分額は、つぎのとおりである。

配分額 181,120,000円

## 人 事 係

### 1. 特別職の職別職員数

4 9. 3. 3 1現在

職 名	職員数	職 名	職員数
市 長	1人	選挙管理委員会委員	4人
助 役	1	農 業 委 員 会 委 員	17
収 入 役	1	固定資産評価審査委員会委員	3
市 議 会 議 員	23	監 査 委 員	2
教 育 委 員	5		

### 2. 課別職員数

4 9. 3. 3 1現在

区 分	吏 員		雇 員		備 人 技術職員 労働職員	計	男	女
	事 務	技 術	主事補	技師補				
企 画 財 政 課	8		5			13	12	1
秘 書 職 員 課	8		2		1	11	8	3
庶 務 課	13		10		9	32	20	12
税 務 課	12		16			28	23	5
市 民 課	12		20		1	33	21	12
環 境 保 全 課	8		6		5	19	17	2
経 済 課	7		3			10	9	1
建 設 課	3	4	5	3	8	23	22	1
都 市 計 画 課	4	5	1	3	3	16	15	1
下 水 道 課	5	6		2		13	12	1
用 地 課	4		2	1		7	7	
福 祉 事 務 所	21		14		8	43	18	25
会 計 課	5		2			7	5	2
議 会 事 務 局	6		1		1	8	7	1
水 道 課	8	3	5	3	11	30	27	3
選挙管理委員会事務局	2		1			3	2	1
監査委員事務局	2		1			3	2	1
教 育 委 員 会	庶 務 課	8	1	5	1	18	12	21
	学 務 課	13		5		13	18	13
	社会教育課	8		8		1	17	2
合 計	157	19	112	13	79	380	272	108



3. 発 令

(1) 昇 格

年 月 日	氏 名	任 命 ( 補 職 ) 事 項
48. 4. 1	富 山 敬 夫	総務課事務機械係長心得
"	浜 野 満	体育館主任
"	高 橋 英 次	"
"	西 湖 均	事務吏員主事
"	山 本 定 行	"
"	小 沢 佐 一	"
"	金 子 秀 二	"
"	小 作 梅 子	"
"	原 島 芳 江	"
"	清 水 富久世	"
"	木 村 安 江	"
"	横 瀬 容 子	"
"	細 谷 春 好	技術吏員技師
"	笹 本 喜美枝	事務吏員主事
"	永 野 賀代子	"
"	雨 倉 孝 明	"
"	村 山 雅 直	"
"	田 村 智代子	"
"	蓑 輪 政 幸	技術吏員技師
"	渡 辺 利 恵	事務吏員主事
"	成 島 文 子	"
"	小 田 美江子	"
"	菅 井 憲 一	"
48. 5. 1	八 木 房 雄	環境保全課長
"	須 崎 進	建設課長
"	小 野 光 朗	社会教育課長
"	黒 田 登	下水道課長補佐
"	市 川 昭 利	議会事務局議事係長

年 月 日	氏 名	任 命 ( 補 職 ) 事 項
48. 5. 1	小 峰 敬 一	監査委員事務局監査係長
"	柚 木 誠 一	福祉事務所保護担当主査
"	清 水 洋 治	会計課審査係長
"	長谷川 一 則	庶務課広報主任
"	並 木 茂	企画財政課企画担当主査
"	渡 辺 義 紀	秘書職員課職員厚生係長
"	宮 城 真 一	庶務課広報係長
"	渡 辺 勲	税務課市民税係長
"	雨 宮 修 介	" 徴収係長
"	森 田 雅 樹	市民課保険係長
"	須 崎 寛	環境保全課環境衛生係長
"	安 藤 昭 二	経済課消費生活係長
"	中 根 三 規 夫	建設課用地係長
"	原 島 良 吉	" 応急補修係長
"	児 島 勝	都市計画課福生駅東口開発担当主査
"	内 田 武 男	"
"	関 根 茂 一	"
"	清 水 勝 喜	都市計画課公園管理係長
"	浜 野 喜 代 一	福祉事務所保護担当主査
48. 7. 1	森 田 秀 子	事務吏員主事
48. 10. 1	望 月 茂	"
"	峰 岸 均	"
"	森 田 文 明	事務吏員主事
"	清 水 しげ子	"
"	宝 川 たかの	"
"	野 島 幸 枝	"
48. 10. 10	古 谷 正 夫	学務課長
"	石 川 和 夫	課 長
48. 11. 1	森 田 正 久	水道課工務係長
49. 1. 1	石 川 昭 博	事務吏員主事
"	小 林 正 雄	"

## (2) 異 動

年月日	氏 名	異 動 後	異 動 前
48. 5. 1	高 水 求	企画財政課長	総務課長
"	生 子 国 利	庶務課長	企画調査室主幹
"	島 田 猛	税務課長	議会事務局長
"	田 村 忠 雄	市民課長	税務課長
"	八 木 房 雄	環境保全課長	収入役室出納係長
"	須 崎 進	建設課長	議会事務局議事係長
"	斉 藤 多 市	下水道課長	衛生課長
"	森 田 武	会計課長	市民課長
"	小 野 光 朗	社会教育課長	総務課管財係長
"	古 谷 徳 男	議会事務局長	建設課長
"	黒 田 登	下水道課長補佐	都市計画課下水道係長
"	富 山 敬 夫	議会事務局庶務係長	総務課事務機械係長心得
"	小 峰 敬 一	監査委員事務局監査係長	企画調査室
"	渡 辺 義 紀	秘書職員課職員厚生係長	経済課
"	宮 城 真 一	庶務課広報係長	企画調査室
"	須 崎 寛	環境保全課環境衛生係長	税務課
"	安 藤 昭 二	経済課消費生活係長	総務課
"	中 根 三規夫	建設課用地係長	福祉事務所
"	清 水 勝 喜	都市計画課公園係長	建設課
"	清 水 洋 治	会計課審査係長	企画調査室
"	岡 本 泰 昌	学務課学務係長	衛生課公害係長
"	持 田 巽	企画財政課企画担当主査	市民課保険係長
"	佐 藤 喜一郎	企画財政課契約係長	建設課管理係長
"	坂 本 昭	秘書職員課秘書調査係長	建設課用地係長
"	矢 崎 茂 夫	秘書職員課人事係長	税務課市民税係長
"	篠 崎 寛	庶務課庶務係長	企画調査室職員係長
"	石 川 和 夫	庶務課市民相談係長	企画調査室企画係長
"	町 田 光 輝	税務課庶務係長	総務課防災係長
"	田 村 一 郎	建設課管理係長	福祉事務所福祉係長

年月日	氏名	異動後	異動前
48. 5. 1	長谷川 一 則	庶務課広報主任	企画調査室
"	松 沢 清	下水道課工事係長	建設課工事係長
"	武 藤 八 三	福祉事務所庶務係長	税務課徴税係長
"	宮 本 豊 員	" 保育係長	選挙管理委員会事務局選挙係長
"	寺 沢 明	選挙管理委員会事務局選挙係長	福祉事務所庶務係長
"	柴 田 正 敏	福祉事務所福祉係長	" 保護係長
"	中 村 美 雄	学務課教職員係長	学務課学務係長
"	山 口 健 三	環境保全課防災係長	衛生課環境衛生係長
"	野 島 照 明	建設課工事係長	建設課管理係主任
"	高 野 久	" 市道整理係長	"
"	児 島 亀之助	企画財政課企画担当主査	企画調査室広報係長
"	島 崎 正 雄	議会事務局	企画調査室
"	海老沢 泰 弘	庶務課	監査委員事務局
"	笹 本 喜美枝	教育委員会学務課	衛生課
"	中 野 武 子	"	総務課
"	原 島 美佐江	"	税務課
"	小 林 作 二	企画財政課	総務課
"	本 橋 栄 蔵	"	税務課
"	村 尾 伝	秘書職員課	収入役室
"	小 沢 佐 一	"	税務課
"	青 木 近 三	"	"
"	私 市 ふみよ	庶務課	市民課
"	渡 辺 利 恵	"	水道課
"	森 田 則 男	税務課	市民課
"	西 湖 均	"	経済課
"	山 本 定 行	"	衛生課
"	平 間 清 美	市民課	収入役室
"	高 橋 保 雄	環境保全課	総務課
"	金 子 秀 二	経済課	税務課
"	松 本 正 雄	福祉事務所	水道課

年月日	氏名	異動後	異動前
48. 5. 1	箕輪政幸	建設課	水道課
"	田村義富	下水道課	建設課
"	島田ヤエ子	"	市民課
"	石川福男	"	水道課
"	平岡幸男	"	建設課
"	細谷春好	"	"
"	市川公一	"	都市計画課
"	高山庫夫	"	"
"	志村芳次	都市計画課	建設課
"	田中才一	"	"
"	小島岩雄	"	"
"	島田兼男	水道課	市民課
"	森田正久	"	建設課
"	中垣一枝	"	学務課
"	森谷稔	税務課	議会事務局
"	島田忠好	福祉事務所	教育委員会庶務課
"	森田明弘	税務課	都市計画課
"	関田勇司	市民課	"
"	吉野光男	税務課	企画調査室
"	野村敬二	会計課	"
"	荒井隆幸	環境保全課	"
"	薄田道夫	税務課	都市計画課
"	高橋泰	市民課	福祉事務所
"	中村幸男	税務課	学務課
"	木住野佑治	企画財政課	税務課
"	田中益雄	市民課	"
"	成沢秀樹	環境保全課	企画調査室
"	土井真	"	都市計画課
"	野崎隆晴	税務課	"
"	宮田満	企画財政課	教育委員会庶務課

年月日	氏名	異動後	異動前
48. 5. 1	鳥海好江	庶務課	企画調査室
"	田中好枝	秘書職員課	"
48. 7. 1	佐藤高一	市民課	水道課
"	中村しげ子	監査委員事務局	秘書職員課
"	山崎典雄	環境保全課	福祉事務所
"	坂本勝久	下水道課	市民課
48.10.10	高水求	秘書職員課長	企画財政課長
"	上野重勝	企画財政課長	水道課長
"	黒田登	建設課長	下水道課長補佐
"	須崎進	用地課長	建設課長
"	井上久男	水道課長	学務課長
"	古谷正夫	学務課長	西多摩衛生組合派遣
"	中根三規夫	用地課用地第一係長	建設課用地係長
"	長谷川一則	庶務課市民相談係長	庶務課広報係主任
"	田中孝治	用地課	建設課
"	滝島肇	"	"
"	東芳行	"	"
"	並木克益	"	"
48.11.1	川辺登茂次	下水道課計画係長	水道課工務係長
"	並木茂	" 管理係長	企画財政課企画担当主査
"	関根茂一	用地課用地第二係長	都市計画課福生駅東口開発担当主査
"	小沢佐一	都市計画課	秘書職員課
"	森田昇一	水道課	下水道課

## (3) 採 用

年月日	氏 名	所 属	職 種
48. 4. 1	森 谷 稔	議会事務局	事 務 職
"	島 田 忠 好	教育委員会庶務課	"
"	森 田 明 弘	都市計画課	"
"	関 田 勇 司	"	"
"	浜 名 貞 雄	経 済 課	"
"	峰 岸 一 彦	教育委員会庶務課	"
"	吉 野 光 男	企画調査室	"
"	野 村 敬 二	"	"
"	荒 井 隆 幸	"	"
"	藤 田 充	総 務 課	"
"	藤 井 昭 二	水 道 課	"
"	三 森 二 野	総 務 課	"
"	明 珍 誠	市 民 課	"
"	薄 田 道 夫	都市計画課	"
"	関 根 正 文	市 民 課	"
"	清 水 常 男	"	"
"	早 川 新 一	水 道 課	"
"	高 橋 泰	福祉事務所	"
"	中 村 幸 男	学 務 課	"
"	千 羽 和 男	市 民 課	"
"	星 野 恭 一 郎	福祉事務所	"
"	木住野 佑 治	税 務 課	"
"	田 中 益 雄	"	"
"	田 辺 恒 久	総 務 課	"
"	常 山 隆 夫	福祉事務所	"
"	成 沢 秀 樹	企画調査室	"
"	土 井 真	都市計画課	"
"	渡 辺 良 郎	経 済 課	"
"	野 崎 隆 晴	都市計画課	"

年月日	氏名	所属	職種
48. 4. 1	宮田 満	教育委員会庶務課	事務職
"	東 芳行	建設課	"
"	吉野 栄喜	議会事務局	"
"	鳥海好江	企画調査室	"
"	浦野和枝	選挙管理委員会事務局	"
"	田中好枝	企画調査室	"
"	大和正幸	教育委員庶務課	技術職
"	袴田靖子	総務課	タイピスト
"	天野真江	教育委員会庶務課	栄養士
"	中村 薫	"	"
"	戸室幸治	社会教育課	図書館司書
"	浜野 満	"	体育館指導員
"	高橋英次	"	"
"	野方 孝	"	"
"	工藤金太郎	"	"
"	小川弘治	"	用務員
48. 7. 1	並木克益	建設課	事務職
"	岡部伸治	税務課	"
"	田中 実	学務課	"
"	板垣俊和	庶務課	"
"	村野光治	税務課	"
"	田野倉純男	建設課	"
"	塩野勝己	市民課	"
"	中村利夫	都市計画課	"
"	遠藤寛治	建設課	技術職
"	町田泰祐	水道課	"
"	平瀬初代	市民課	事務職
"	村木利枝子	秘書職員課	"
"	小林一江	市民課	"
"	滝島江利子	教育委員会庶務課	"



年月日	氏名	所属	職種
48. 7. 1	井上美智子	福祉事務所	事務職
"	石川恵一	下水道課	技術職
"	斉藤勉	社会教育課	事務職
"	貫井健一	"	"
"	斉藤好江	"	"
"	松坂直人	"	"
"	森田昇一	下水道課	技術職
"	中野寿子	庶務課	電話交換手
"	新保通利	"	運転手
"	黒山栄二	水道課	浄水場ポンプ操作員
"	板寺大八郎	"	"
48. 11. 1	岩浪正明	監査委員事務局	事務職
49. 1. 1	小山茂夫	学務課	用務員

(4) 派遣

年月日	氏名	事項
48. 10. 10	古谷正夫	西多摩衛生組合派遣を解く
"	石川和夫	西多摩衛生組合派遣を命ずる

(5) 退職

年月日	氏名
48. 4. 30	小林喜代子
"	葉養喜美枝
"	酒井まり
48. 6. 1	田村まき江
48. 9. 30	窪田豊子
48. 12. 31	大野忠一
"	高橋定一
49. 3. 31	佐藤三千代

## (6) 休 職

年 月 日	氏 名	期 間
48. 8. 1	渡 辺 良 郎	48. 8. 1 ~ 48. 8. 31
48. 11. 1	石 川 和 一	48. 11. 1 ~ 49. 1. 31
49. 2. 1	"	49. 2. 1 ~ 49. 4. 30

## 4. 採用試験

試 験 日	採 用 職 種	応 募 者	受 験 者	合 格 者
48. 4. 23	自 動 車 運 転 手	24人	22人	1人
	電 話 交 換 手	11	6	1
48. 5. 25	浄水場ポンプ操作員	14	14	2
48. 5. 29	一 般 事 務 職 員	27	27	14
	技 術 職 員	5	5	4
	図 書 館 事 務	16	16	1
	体 育 館 事 務	15	15	2
48. 10. 24	一 般 事 務 職 員	133	105	11
	技 術 職 員	9	8	0
	用 務 員	4	4	2
	作 業 員	5	3	2
49. 3. 20	老人家庭奉仕員	2	2	2
	作 業 員	2	2	2

## 5. 職員の居住状況

49. 3. 31現在

市町村名	人数	市町村名	人数
福生市	187人	八王子市	4人
青梅市	47	武蔵村山市	4
秋川市	31	檜原村	4
羽村町	25	日野市	3
昭島市	16	立川市	2
瑞穂町	16	小金井市	1
日の出村	16	小平市	1
奥多摩町	11	国分寺市	1
五日市町	10	入間市	1
		合計	380

## 6. 年齢別職員数

49. 3. 31現在

区分	総数	男	女
18歳～19歳	24人	19人	5人
20"～23"	78	49	29
24"～27"	80	51	29
28"～31"	36	29	7
32"～35"	32	25	7
36"～39"	33	26	7
40"～43"	15	12	3
44"～47"	24	21	3
48"～52"	31	20	11
53"～54"	7	5	2
55"	1	0	1
56"	5	4	1
57"	5	4	1
58"	3	3	0

区 分	総 数	男	女
59 歳	1人	1人	0人
60 "	3	2	1
61 " ~ 64 歳	1	0	1
65 " ~ 69 "	1	1	0
計	380	272	108

7. 特別職報酬等審議会

(1) 委 員

氏 名	住 所
天 野 正 男	福生市大字福生650番地
内 田 満 蔵	" " 620 "
大久保 一 郎	" 大字熊川582 "
木 村 貞 子	" " 809 "
児 島 信 一	" " 707 "
高 橋 千 春	" 志茂 56 "
並 木 秀	" " 201 "
中 村 国 太	" 牛浜 47 "
渡 辺 継二郎	" 大字熊川950 "

(2) 審議会の審議経過

回数	開会日	審議事項
第1回	1月16日 午後1時 三階委員会室	1. 会長互選、会長職務代理の指定 会長 高橋委員を決定 会長職務代理 中村委員を指定 2. 市長から会長に審議事項の諮問を行う。 3. 審議資料の事務局説明
第2回	1月23日 午前10時 二階会議室	1. 会議の運営について 2. 審議資料について質疑
第3回	1月28日 午前10時 三階委員会室	1. 審議資料(追加分)の事務局説明 2. 会議の運営について 3. 三役及び教育長の給与について審議 4. 関連して議員報酬について審議
第4回	2月4日 午前10時 二階会議室	1. 会議の運営について 2. 他市の引き上げの根拠について 3. 議員報酬について審議決定 4. 三役及び教育長の給与について再審議決定
第5回	2月12日 午後3時 二階会議室	1. 会議の運営について 2. 答申書について審議決定 3. 市長に対し答申

昭和49年2月12日

福生市長 石川常太郎 殿

福生市特別職報酬等審議会  
会長 高橋千春

福生市議会議員の報酬・福生市長等および  
教育長の給与の改定について（答申）

昭和49年1月16日付福秘発第3.104号をもって諮問のあったこのことについて別紙のとおり答申します。

## 答 申 書

貴職から諮問をうけた本審議会は審議の方針として報酬等の改定の必要性とその基準改定の額および実施時期等について、終始公正、かつ各委員が市民の代表であるという認識のもとに慎重に審議を重ねてきた。

この間、審議会においては「議員の報酬は職務の特殊性とその責任に対応したものであると同時に、社会的地位にふさわしいものでなければならない。」また「市長等および教育長の給与は、一般職の給与の最高額より上位にあることが望ましい。」を基本的理念として、都下各市の特別職の報酬および給与の実態、本市の特別職の給与と一般職の給与との現況と比較、最近における経済情勢と消費者物価の動向、一般職の給与改訂状況、各市の行財政実態等多くの資料を参考に調査し、また、市民感情等も十分配慮するなどあらゆる角度から検討し、審議を重ねた結果、全会一致で本答申を行うものである。

### 1. 市議会議員の報酬について

議 長	月 額	1 3 9, 0 0 0 円
副議長	月 額	1 1 8, 0 0 0 円
委員長	月 額	1 0 9, 0 0 0 円
議 員	月 額	1 0 1, 0 0 0 円

### 2. 市長等の給与について

市 長	月 額	3 1 8, 0 0 0 円
助 役	月 額	2 7 1, 0 0 0 円
収入役	月 額	2 5 8, 0 0 0 円
教育長	月 額	2 5 8, 0 0 0 円

### 3. 改定の実施時期

本答申にかかる改定実施時期は、諮問の期日が1月16日であるので、昭和49年1月1日から実施すべきであるとの結論を得た。

### 4. そ の 他

本答申について、議員、理事者におかれては、その重要な責務に対する処遇には不満足な面もあるかと思いますが、その職務を十分遂行されることを期待いたします。

また、特別職の報酬、給与等の額の改定に際し、審議の過程において、最近の経済情勢の激変と民間給与の引き上げ等にかんがみ、昭和49年度においても当然一般職の給与に関し、人事院勧告が行われるものと思われるが、予測事項を先取りして額の決定をすべきではないとの意見を重視して改定額の答申をしたので、今後一般職の給与ならびに他市町の特別職の給与と比較し、均衡を失することとなったときは、速やかに検討すべきであることを付記するものである。

終りに、本答申に対し市民の深いご理解を心から望むものである。



# 職 員 厚 生 係

## 1. 職員研修

研 修 名	期 日	日 数	対 象 者	修了者数	主 な 研 修 内 容
組 織 内 研 修					
一般職員研修	12. 10~12. 11	2	勤続3年から5年の一般職員	37	職員の役割 K・J法
中堅職員研修	12. 13~12. 14	2	勤続5年以上から役付前の一般職員	44	現代の行政体と中堅職員 K・J法
新任職員研修(第1回)	1. 28~ 1. 29	2	勤続1~2年の職員	48	公務員生活への案内、人間関係
〃 (第2回)	2. 18~ 2. 19	2	〃	47	〃
東京都市町村職員研修					
新任研修第一部(第2回)	5. 7~ 5. 18	9	新規採用職員	3	職場への適応、地方自治制度
〃 (第4回)	6. 4~ 6. 14	9	〃	4	〃
〃 (第6回)	9. 10~ 9. 21	9	〃	2	〃
〃 (第8回)	10. 24~11. 2	9	〃	3	〃
〃 (第9回)	1. 10~ 1. 23	9	〃	8	〃
新任研修第二部(第1回)	4. 19~ 5. 1	9	〃	5	〃
〃 (第3回)	5. 21~ 6. 1	9	〃	5	〃
〃 (第5回)	6. 18~ 6. 29	9	〃	5	〃
〃 (第7回)	9. 26~10. 5	9	〃	2	〃
現任研修(第2回)	10. 11~10. 19	8	新任研修修了者	2	地方財政論、行政法
〃 (第3回)	11. 7~11. 16	8	〃	3	〃

現任研修(第4回)	12. 4~12. 13	8	新任研修修了者	2	地方財政論、行政法
" (第5回)	1. 25~ 2. 4	8	"	2	"
" (第6回)	2. 7~ 2. 19	8	"	2	"
" (第7回)	2. 21~ 3. 4	8	"	3	"
管理監督者研修第一部	7. 31~ 8. 3	4	課長	1	市町村の人事管理について、事例研究
" 第二部(第2回)	7. 2~ 7. 10	7	係長	1	PERT 仕事の管理
" " (第3回)	7. 19~ 7. 27	7	"	1	"
" " (第4回)	8. 6~ 8. 14	7	"	1	"
" " (第5回)	8. 27~ 9. 4	7	"	1	"
文書法規科研修	5. 8~ 5. 11	4	文書法規事務関係職員	1	条例と規則、文書審査
契約事務科研修	6. 19~ 6. 22	4	契約事務関係職員	1	契約法、地方公共団体の契約制度
税務科研修(第1回)	7. 10~ 7. 17	6	固定資産税関係職員	1	固定資産税、評価実務
" (第2回)	8. 17~ 8. 24	6	住民税関係職員	1	所得税法、住民税
保母科研修(第1回)	7. 12~ 7. 17	4	初級保母	1	保育行政の現状と問題点、地方公務員制度
" (第2回)	7. 26~ 7. 31	4	"	1	"
" (第3回)	8. 28~ 8. 31	4	"	1	"
E D P S科研修(初級)	8. 16~ 8. 23	6	企画関係職員	1	システム護士概論、プログラミング演習
研修担当係長研修	10. 22~10. 23	2	研修担当係長	1	これからの組織内研修、情報交換
用地取得科研修	11. 5~11. 9	4	用地取得関係職員	1	用地取得の現状と課題

研 修 名	期 日	日 数	対 象 者	修了数 著 数	主 な 研 修 内 容
東京都職員研修					
係長研修(第2回)	7. 24～ 8. 2	8	係長	1	
〃 (第11回)	1. 16～ 1. 25	8	〃	1	
課長研修(第6回)	10. 16～10. 19	4	課長	1	大都市行政制度、事例研究
建設大学校研修					
下水道科研修	1. 8～ 2. 6	30	下水道関係職員	1	下水道行政、下水道基本計画
東京都公害局研修					
公害専門研修初級(第1回)	6. 18～ 6. 21	4	公害事務関係職員	1	
〃 〃 (第2回)	6. 26～ 6. 29	4	〃	1	
〃 中級大気科	11. 19～11. 21	3	〃	1	今後の大気汚染防止の進め方について
〃 中級水質科	11. 26～11. 29	4	〃	1	有害物質処理技術、一般排水処理技術
各種事務研修(4件)				6	

2. 福 利 厚 生

(1) 福生市職員共済組合

職員の相互共済と福利厚生のために、全職員（特別職を含む）をもって構成される職員共済組合は、毎年組合員の掛金及び市からの補助金により各種給付、福利厚生事業を行っている。

昭和48年度のこれら事業の実施、給付支給状況は、つぎのとおりです。

ア. 事業実施状況

事業名	参加人員
七夕まつり流し踊り	116人
都26市親睦排球大会	参加チーム37 580人
市共済組合組合員親睦旅行	240人
〃 組合員家族慰安会	400人

イ. 給付金支給状況

種類	件数	金額
入学祝金	18人	66,500円
結婚〃	組合員 17人 家族 11人	292,000
傷病見舞金	組合員 6人 家族 9人	93,000
弔慰〃	14人	296,700
退職慰労金	7人	34,000

ウ. 生計資金貸付状況（昭和49年3月31日現在）

貸付者数	51人
貸付金額	1,337,000円
運用資金額	2,000,000円

(2) 東京都市町村職員共済組合

了. 組合員数及び被扶養者数(昭和49年3月31日現在)

組 合 員 数			被 扶 養 者 数
男	女	計	
276人	108人	384人	374人

1. 掛金負担金

(単位 円)

短 期		長 期			事 務 費
掛 金	負 担 金	掛 金	負 担 金	追加費用 (既裁定含)	
13,822,879	13,824,614	17,913,142	24,838,658	7,720,952	818,460

ウ. 各種給付金

(ア) 短期給付金

種 類		件 数	金 額
出 産 費	組 合 員	5	359,700円
	配 偶 者	10	607,170
育 児 手 当 金	組 合 員	5	12,000
	配 偶 者	10	24,000
埋 葬 料	組 合 員	0	0
	被 扶 養 者	0	0
療 養 費	組 合 員	3	29,609
	被 扶 養 者	4	30,725
出 産 手 当 金		0	0
傷 病 手 当 金		0	0
休 業 手 当 金		0	0
災 害 見 舞 金		1	60,450
弔 慰 金	組 合 員	0	0
	被 扶 養 者	0	0

## (イ) 長期給付金

種 類	件 数	金 額
退 職 年 金	1	1,091,866 円
減 額 退 職 年 金	0	0
通 算 退 職 年 金	1	78,254
退 職 一 時 金	6	854,790
返 還 一 時 金	0	0
廃 疾 年 金	0	0
廃 疾 一 時 金	0	0
遺 族 年 金	0	0
死 亡 一 時 金	0	0

## (ウ) 付加給付金

種 類	件 数	金 額
家 族 療 養 費	810	1,970,958 円
結 婚 手 当 金	16	240,000
災 害 見 舞 金	1	36,270
埋 葬 料	組 合 員	0
	被 扶 養 者	0
出 産 費	組 合 員	100,000
	配 偶 者	200,000
育 兒 保 健 助 成 金	15	114,000

## エ. 貯金及び貸付状況(昭和49年3月31日現在)

種 別	件 数	金 額
貯 金 残 高	239	6,087,960.8 円
貸 付	住 宅 貸 付	61,593,516
	普 通 貸 付	15,607,150
	特 別 貸 付	180,686

ホ. 健康組合員の表彰

昭和47年4月1日から昭和48年3月31日までの1年間に医療給付を受けなかった組合員が表彰され、あわせて記念品が贈られた。

男子 21人 女子 11人 合計 32人

カ. 契約旅館、保養所利用状況

共済組合の契約宿泊施設を利用する組合員に対し、利用券による宿泊料の一部を補助した。

種 別	利用者数(被扶養者含)	補助金額
契 約 旅 館	417人	625,500円
契 約 保 養 所	84人	63,000円

(3) 健康管理

ア. 検診

種 目	実施期日	受診人員
レントゲン検診	6月19日	319人
定期健康診断	7月4日、5日	311人
胃 検 診	11月1日、2日	54人

イ. 予防接種

種 目	実施期日	受診人員
日 本 脳 炎	5月18日	83人
インフルエンザ1回目	10月22日	58人
〃 2回目	10月29日	79人

ウ. 公務災害補償

ア. 法令別発生状況

区 分	地方公務員災害補償法	非常勤職員公務災害補償条例	計
件 数	2	0	2

1. 職務態様別発生状況

区 分	職 務 遂 行 中		職 務 遂 行 に 伴 う 必 要 行 為 中	出 張 中	計
	施 設 内	施 設 外			
事 務 職	1	1			2
技 術 職					0
労 務 職					0
計	1	1	0	0	2

(5) 被服貸与状況

事務服貸与状況（昭和48年度中の貸与数量）

区 分	男 子	女 子	
	事 務 シ ャ ッ ツ	夏 事 務 服	冬 事 務 服
種 類	事務用ワイシャツ(夏冬)	事務服(上)	事務服(上下)
貸与数量	501 枚	109 枚	72 着
貸与者数	252 人	90 人	61 人

(6) 東京都市町村職員退職手当組合

ア 負 担 金

種 類	金 額
市 長	2,294,728 円
助 役	858,146
収 入 役	682,772
教 育 長	801,246
一 般 職	27,788,985
特 別 負 担 金	3,436,638



1. 退職手当

種 類	件 数	金 額
普 通 退 職	5	1,680,560 円
傷 病 退 職	1	913,200
欲し ら 退 職	2	7,903,290